

## グループ発表

環境、静か、上品・・・それだけ？

買い物や娯楽の場所が少ない？

Aグループ 改善点は「環境」と「雰囲気」で分けました。「環境」では「ゴミの出し方のマナーが悪い」深江浜の工場から来る臭いが問題になっています。

「雰囲気」の改善点は、大人の街だけでなく子どもも生活しやすい街にしたほうが良いと思います。阪急芦屋川の芦屋商店（街）はいい店とかあるんですが、よそ者は受け付けないみたいな感じになっていて閉鎖的です。また、街があまりにも静かすぎへんかみたいな気がします。芦屋は何から何まで高くて、マンションにしても高くて、一軒家も普通じゃありえへんような額のものもあつたりします。だから住居としては若者の候補には入らないそうです。看板の制限では、それを商売としている人もいるので看板の制限はしないほうが良いと思います。

良いところは、空気が非常に良いこと。静かで平和な街だと思います。アニメの涼宮ハルヒのものに聖地巡礼の旅の中で芦屋病院が出ています。地域発展を目指すのだったらアニメも受け入れたら良いと思います。

Bグループ 魅力は環境や治安が良い、経済的に豊かな町であるということが沢山出てきました。改善して欲しいところは映画館が欲しいということでした。大森さんとかもいらっしゃるのに、芦屋には映画館がなくて映画を見に行こうとすると他市にいかなければならないということは残念です。

Cグループ いいところばかりなんですが、景観がきれい、自然が豊か、北には山、六甲山があって、南には海がある。他の市と違って最近外国人もよく見かけて、芦屋市もグローバル化してるんだなと思いました。人口も小さいけど他の市に比べ発信力も少ないと思いました。そんなに大きな変化を求めないという結論に至りました。

Dグループ 良いところは、自然が豊かでいっぱいあるということと、市民のための街というイメージから市民全体で団結していろんな問題に取り組む姿勢が良いところだと思います。特徴がないといわれる点ですが、「芦屋って何ですか」って聞かれ詰まってしまうという問題があります。交通の便があまりよくないです。

Eグループ いろいろな市から来ている人が多いので、外から見たことから切り開いていきました。思ったのは「お金持っているな」ということ、芦屋市民は高い税金を払ってるんでサービスが充実しているなと思いました。芦屋温泉などあり、ほんとにうらやましいです。問題点は、J R芦屋に新快速が止まりますが、他の新快速が止まる駅に比べて見劣りするようになります。改善点は、ルールがちょっと厳しすぎると思います。子どもにも学生にも、大人にも、全員が納得するような街になることがいいかなと思います。

Fグループ 芦屋というと穏やかな住宅地と程よい人口であります。ルールに緩い人も少なくないと思います。それで外国人も住みやすい場所となっていると思います。国際化ということで、外国人の方と交流しながら街をつくるということと、国際文化都市として未来につなぐ会を開くということです。海外の方とお互いの気持ちを尊重すること、人権に対しても大人の街にすることです。海外の歴史、日本の歴史をお互いに深く学んでいくべきだと思います。

Gグループ 芦屋は環境がいい、景観が良い、騒音が少ない、上品な雰囲気、ゴミが落ちてないなど環境に関することはよくできていると思います。セレブの街というイメージがあるので、どうしても若者が優先される気がしないです。映画館とか作り、若者がやってくる遊べる場所があるようなイメージを作っていけばいいなと思いました。

Hグループ 芦屋市のいいところは、全国的に知られているところ、子育て支援が充実しているところ、住宅が兵庫県内の自治体に比べて静かで住みやすいところ、街並みがきれいなところと、海にはヨットハーバーがあること。ボートで遊べることができるのは唯一芦屋市だけだと思います。芦屋市の住みにくいところは高級すぎるということです。一部の地域で空き家問題が生じているのでそこを改善していくべきだと考えています。マナーが悪い人がチラホラ見られます。最終的な結論といたしましては大森さんの意見と重複しますが、「大人の街芦屋」というのをベースにして子育て支援とか、いいところはどんどん取り入れていったらいいなと考えています。

Iグループ この辺りは阪急とかあり便利ですが、芦屋の浜側は交通の便がどちらかというとな不便です。特に海側に行くことによってどんどん交通の便が悪くな

っていきます。住民が集まる場所が少なく、他の地域の人々との関わりも少なく、団結力があんまりないっていう感じです。

半面、マナー条例というルールを設けているところは、個人的にはいい街づくりになっているんじゃないかと思っています。

J グループ 一番多いのは建物がきれい、蛍が見え自然はきれいと思うけど、芦屋市民って変なプライド持ってるっていうか、よその人をあまり受け入れへんというのがあるように思います。芦屋って歴史もあるし、もっと交流を深めていったらいいなっていうのと、若者がちょっと行きたいなと思うようなカラオケや映画館が少ない。そのまま何もしないっていうのもあるけど、コンビニの横におしゃれな公園があったりするのすごくいいと思います。

K グループ 芦屋のいいところは、環境では街がきれい、自然が豊かかっていうことができて、交通では JR、阪急、阪神全てが揃っているっていうところと、食べ物に関しては、ラーメン屋さんとかウナギ屋さんとかいっぱいあるということです。人に関しては外国人がいて、高齢者が多い、優しい人が多いというところが出ました。改善したいところでは、ショッピングセンターがあまりないということ。逆にありすぎるものが電柱、坂。止めてはいけないところに車を止めてバスにも迷惑だとか、カラスがゴミをつつくとか、駅から病院が遠いとかがあります。また金持ちの人とそうでない人の差がある。これらが改善できたらめっちゃいい街になるんじゃないかと思っています。

## グループ発表に対してゲストからのコメント

紋切型の見方では？

芦屋じゃやらない⇒芦屋のオリジナル性を大事に

大森 なんか発表を聞いてがっかりしました。もっとなんかないのかな、月並みな知っているようなことばかり並べて。自分が見たもの聞いたもの、自分の五感を大事にしないと。

中田 みんなの中では言いにくいことはいろいろあります。意見が違って、変かなと思っても言ってみればいいんじゃないんでしょうか。

三宅 世界のいろいろな地域には、それぞれの場所に言葉でみんなを急に笑顔にできるテーマがあったり、逆に苦情とか不満とかが出てくるキーワードがあります。

後半の僕からのリクエストは、芦屋のみんなが笑顔になってその議論が進んでいくキーワードを見つけてもらいたいなという気がしました。

山崎 開口一番「そんなんはいらん」「未来の芦屋は大人の芦屋であるためにしてはいけない 10 のことにしようぜ」という話がありました。「してはいけない 10」のことと言うとネガティブなことに聞こえるけれども、我々が守りたい笑顔になれるようなキーワードというのは将来を笑顔にするためにやっちゃいけないことであるということです。一般的なこと言わんでもええやんというのは、本当は激励なんですよ。さっき五感でという話がありましたが、自分の五感です。本当に交通の便が悪いんと思っている人は、それ五感ですから戦ったらいいんですよ。「大森さん違います。あんたは世界で活躍しているから、3本も鉄道が走ってることはすごいことやと便利やおっしゃるかもしれない。だけど高校生の我々にしてみたら、芦屋の中を海から山へ移動してんねん、めっちゃ不便なんや」と思うんやったらそこは自信を持って言えばいいと思います。しかしだからといって南北に走る鉄道を作りましょうというのがいいのかどうかは別の話ですよ。やってはいけないことかもしれない。「ありきたりの話にしないようにしようぜ」というのがすごく重要なこと、もう一方ではネガティブな話ばかりしてもしようがないので、「みんなが笑顔になるキーワードをみつけよう」その笑顔になるやつをつぶさないように少なくともこれは止めておこうやというようなものを 10 あげてみる。これ全部裏返すと我々が全部欲しい未来というのを見せてくれる用語になってんじゃないかなって感じがします。

大森 さっきの「ゆるキャラは作らない」「B-1 グランプリに参加しない」に加えて、「ふるさと納税はしない」「映画撮影の誘致はしない」。誘致して街おこしとかいいですが、街おこしにならないですよ。芦屋は全国に発信していないというんだけど、撮影禁止が発信になるんですよ。僕ら大人やから、さっきの交通の問題でも、外に出るとこんな便利なところはないと思うけど、市内は不便なんかもしれないですし。芦屋は全国的に有名であるっていう事を言ってた班がひとつあったんですけど、これも大人にならないとわからない。芦屋を出てみたら、そんなに芦屋って有名やったんかと感じると思います。

山崎 僕もいろんな所行って「住まいは？」と言われたら一応「芦屋」って言うんですけどね、その時に一番嫌な反応は「ああ金持ちの街ですね」です。話を終わらせようとしているんです。中身を知ろうとしていない。「ベンツの」とかで

パシッと切られない芦屋をどうやって作っていいのか、「語れる芦屋」「魅力的な芦屋」って何かといった時に、やらないこととかから考えてみると、オリジナルなアイデアが出てくるような気がしますね。

## グループディスカッション2のグループ発表

再び自分たちの言葉で、ありたい芦屋の街を語った

- K グループ 重点的には無電柱化を進めていこうという話になりました。理由は、南海トラフが起きそうですし、阪神淡路大震災の時に電柱が倒れたことによって救急車が動けないとか、火事が起きたとしても消防隊が行けないとかで、被害が大きくなったと思うんですよ。もし、倒れた電柱がなかったら、道が大丈夫だったら救急車も消防隊もいけ、被害が少なくてすむのではないかということでもあります。電線を埋めるためには、地域で予算をあげて期間を決めやっていったらと思います。
- J グループ 結論から言うと、芦屋はお金持ちというイメージ以上超えるものはないんじゃないかなと思いました。だからそのイメージをちゃんと伸ばしていくのがよいと思いました。また、芦屋のイメージをこれから作っていくのは僕らみたいな若者だと思います。
- I グループ 芦屋市でやってはいけない10か条として、宗教の勧誘、居酒屋の深夜営業、風俗です。新たに欲しいものは自転車専用レーンの設置、バスの増発、コミュニティバスの設置とかで、高齢者に親切な対応していくってということが必要であるという結論に至りました。
- H グループ 芦屋は昔から国際文化住宅都市って言われる。文化はとても大切であり、その文化を作るのは人で、芦屋の魅力のひとつは人だと思います。人が未来を作るには教育を充実していかないといけないと思うんです。外からのいろんな人に入ってきてもらうことによって芦屋にいたからこんなことができたとか、外から来た人が芦屋で過ごしたから、こんな芦屋の文化でこんな素晴らしいことがあったから何々ができたとかというような人と文化の街にしていった方がいいんじゃないかなと思います。
- G グループ 話が多すぎてどうやってまとめたらいいか時間が足りなかったです。「大人の街反対」って書いてあるんですが、反対というより若者をターゲットにして何が必要かということは今から考えないといけないということです。

- F グループ 芦屋に無いものを考えました。ゲームセンター、パチンコ屋、遊園地、ショッピングモール、無いのは退屈ではありますが、それによって起こるトラブルとかを考えると、無いこともいいことに変わるんだなと思います。芦屋は国際都市であるにもかかわらず、外国人が日本人の中に入れてもらえないらしくて、壁を作らないことが大事だなと思いました。
- E グループ まず初めにやってはいけないことで、24 時間営業、これは僕が思うに芦屋のイメージに全く似合わないし、24 時間営業は需要もないしいらなと思います。ご当地アイドルもいらな。
- D グループ 笑顔になるという観点で言うと、芦屋の人はお金持ちで話が終わるという話がありましたが、お金持ちは一部で一般的には庶民的な生活をされている方がほとんどやと思うんですね。巷で言われる芦屋のイメージ、それだけじゃないよ芦屋はということを伝えていきたいと思うんですよ。「リアル芦屋」、これをキーワードにしてほんとの芦屋を伝えていきたいという話になりました。
- C グループ 芦屋の人たちが笑顔になれることは、挨拶ができる、公衆トイレがきれい、大人の街、人と人とのつながりなどです。してはいけないことでは、今もないんですけど、パチンコ屋、ゲームセンター、ラブホテルとかを作らない、ドローンを飛ばさない、高層マンションとか景観が悪くなったりするので建ててはいけないと思いました。芦屋に欲しいなと思ったものが、コミュニティバスや通学用のバスを増やしたら、お年寄りのためにもなります。ボール遊びとかができるような大きな公園や河川敷も欲しいなと思いました。子育て制度が日本一で、例えば明石市は中3まで医療費が無料になるとかあるので、芦屋もそういうふうにしたらいいと思います。
- B グループ 将来、お年寄りにとっても若い人にとっても、住みやすい街づくりをしたらいいなと思いました。問題点は、阪急芦屋川でバスを待ってる時にお迎えの車とかが邪魔していて、バスの運転手さんが困っているので車の停留所を作ったりすることが大事だと思いました。
- A グループ してはいけないことは、駅周辺駐停車です。お迎えの車が止まっていたりして、バスがクラクション鳴らしたりしたらうるさい。国際文化都市にふさわしい街は、ホールを作るとか、芦屋にはルナ・ホールがあるんですが、

大きさが中途半端なので大きいか小さいかどっちかのホールを作って文化活動をもっと活発にしたらいいなあと思いました

## 2回目のグループディスカッションを受けて

### 他で当たり前でも、芦屋にはいないこと

山崎 よほどの理由がない限りは、店は8時に閉めるということですね。ドイツでは法律がありますので、日本から見ると不便で暗いなと思いますが、ドイツをみると、特に不自由はしていないように感じました。

大森 そういう意味では、ありますね。これは採用ですね。芦屋市は24時間営業禁止。

中田 なかったらなかったでええんちゃうんと私も思っていました。

三宅 24時間開けておくということは大変なことで、それが当たり前の社会になるので、そういうことに一旦距離を置くという意味では、非常に画期的なことだなと思います。

山崎 大人の街反対って書いてましたね。そういうのもいいと思うんです。いつの時代も年寄りにはうるさくてうっとうしいと若い人達は思った方がいいんじゃないかなという気がしますね。繋がっているというのは、賛成もあるし、反対もあるんだけど無視しないってことだろうって思います。お年寄りを大切にしましょうねという言葉だけは出るんだけど、後は無視してると言うか、その高齢者の方が具体的に何に困っていて自分は何ができるのかっていうところまでは踏み込まずに、高齢者でも住みやすい街にしましょうと言ってしまつと、それはさっきの芦屋って金持ちですねって言われて話が止まっちゃうのとすごく似ている気がしますね。これはディスコミュニケーションって言われますけれども、コミュニケーションを絶ってしまうのではなくて賛成でも反対でもいいからまず何か関わっていきこうと、お互いに関係しあっていきこうよと言える態度っていうのは大人のコミュニケーションとしてすごく重要なことなのだろうと思います。だから午前中のお話でなんかつまんなかったねということだつて、ある意味はっぱをかけてもらったわけで、これにきっちり応じたということとはすごく面白いコミュニケーションが、今発生しつつあるような気がします。だから、こういう場をもうちょっと続けていきたいねっていうのは僕もすごく賛成で、どんな意見があってもいいと思いますし、それちょっとむりじゃねえ

かと思うところも、じゃどうしたらいいやろって言うような話を本音で話し合える場所は結構気持ちいい場所でもあるような気がします。

山崎 「24 時間営業やめる」ってそうですね。実際、電気ずっと使っているわけですよ。日本に存在しているあの自動販売機の電源を抜いて歩いてる人がいますね。

大森 芦屋市に自動販売機を置くなっているのは？

山崎 いいと思いますよ。あれは、原子力発電所 1 個分なんですよね。とりあえず、電源を抜けば、原発 1 個は無くなるぐらいの電気を毎日使っているらしいからね。計画的になると思うんですよね、逆にね。自動販売機が無い、24 時間が無いってことは、自分は今日飲み物に何を持っていくのか、いつの時間にそれを買っておくのか。店のほうも、今みんなが買いに来る時間に一齐に売ればいいのかということになるじゃないですか。便利になればいいのかじゃなくて、自分たちが本当にどんどん墮落して行って、水も電気もほとんど垂れ流しで使っていると思う。これが大人ではない街に繋がってっちゃう気がします。どっかで我々が「大人の街」を目指す時にやるべきこと、あるいはやってはいけないことってというのが本当にあるような気がしてきましたね。

大森 かなり勇気のいることだけど、それぐらいやってもいいんじゃないかな。自動販売機の無い街って。

山崎 全国に発信して、芦屋は自動販売機無い街ですねって言われると具体的に褒められているような。

大森 コミュニティバスって言っていたところがあつたでしょ。芦屋って市バスがないんよ。市バス作ろうよって提案したらいいんじゃないの。

参加者 市バスを作るっていうのもありなんですけど、市の予算では難しいので、コミュニティバスとなると地区の自治体とかもお金を出して、全体でやるという意味では、市がやるよりも協調性が出てくると感じます。市バスよりは地域住民に優しくなれるという考えです。

参加者 提案としては、デイサービスの送迎の車を芦屋市が大量に用意して貸し出しコミュニティバスにすれば、朝夕以外は結構空いていますよね、1 時間 1 本のバスとして動かすというのを提案してみたいと思います。

参加者 それに対して反論です。人件費はどう考えますか。基本的に人を雇わないといけないと思うんですよ。コミュニティバスの場合は、自治体が出してくれる

から雇ってるっていうのもありますが、市はどうやってその人を雇うんですか。送迎に誰がその役目を担うんでしょう。

山崎 今みたいな議論が重要な気がしますね。デイサービスの車が空いている時間があるよ、その車がコミュニティバスのように走ればいいと思いますが、その車に誰が乗って、時間給どれくらいで走ってるのかということ具体的を考えなきゃいけない、具体的にはウーバー（配車サービス）やコミュニケーションタクシーだったり、コミュニティバスだったり、デマンドバス呼ばれたりしますが、住民の人たちが自分の好意で自分が持ってる車に3つ席空いてんだから「ここ乗りなよ」って言って、趣味のように町中をちょっと車見せびらかしつつ走ってくれる人たちがいるようなネットワークがうまくつながっていたらコミュニティタクシーみたいなものができるかもしれない。

休憩後

やる？ やらない？ 真剣に考えた

大森 話し合いの時に「芦屋ではしないこと」を話し合ってください。「芦屋市ではゆるキャラを作らない」「芦屋市は食品でB-1グランプリに参加しない」「ふるさと納税不要」「24時間営業をしない」「映画撮影の誘致を特にしない」「自動販売機は不要」後で採用していただけるかどうかを判断しますので、それもお話ください。

Aグループ 阪急30m以内駅周辺駐停車禁止です。「大人の街」って言っている割には、クラクションならされたりしてうるさくて矛盾していると思うので、これを提案として出します。「芦屋市ではゆるキャラを作らない」は賛成、「芦屋市は食品でB-1グランプリに参加しない」は反対、「ふるさと納税不要」は賛成、「24時間営業をしない」は反対、「映画撮影の誘致を特にしない」は曖昧です。「自動販売機は不要」は反対です。

Bグループ 提案としてはSNSが豊富で、twitterとか使うと思うんですけど、リアル芦屋をtwitterとかで呟いたら世界中の人々に届くと思います。「芦屋市ではゆるキャラを作らない」賛成、「芦屋市は食品でB-1グランプリに参加しない」賛成、「ふるさと納税不要」賛成、「24時間営業をしない」完全に無くすのではなく、数を減らしたらどうかと思いました。「映画撮影

の誘致を特にしない」反対で、どうしても取りたいという場合は撮ったらいいと思います。「自動販売機は不要」は賛成です。

Cグループ 提案としてはドローンの禁止。理由は良好な生活環境を守る安全安心の街のためという理由です。「芦屋市ではゆるキャラを作らない」賛成、「芦屋市は食品でB-1グランプリに参加しない」賛成、「ふるさと納税不要」賛成、「24時間営業をしない」賛成、「映画撮影の誘致を特にしない」反対、「自動販売機は不要」賛成です。

Dグループ「芦屋市ではゆるキャラを作らない」賛成、「芦屋市は食品でB-1グランプリに参加しない」賛成、「ふるさと納税不要」賛成、「24時間営業をしない」反対、「映画撮影の誘致を特にしない」反対、「自動販売機は不要」反対です。

Eグループ 「芦屋市ではゆるキャラを作らない」は反対です。「芦屋市は食品でB-1グランプリに参加しない」特徴無いんで、反対です。「ふるさと納税不要」は芦屋市の人も他の自治体にしていると思うので、芦屋市に行く分の税金が他の所に行っていると思うので、これは取られるんやったら取り返すんやみたいな感じで、反対です。「24時間営業をしない」はコンビニとか光が外に漏れるのはダメで、建物内のバーとかはいいんじゃないかと思います。△です。「映画撮影の誘致を特にしない」は、受け皿だけは用意してあげていいと思います。△です。「自動販売機は不要」は、これはもう要りますよね。

Fグループ 外国人と自然に交流できる場を作ることです。例としてはコミュニティバスをつくることで、外国人とか子育て中のお母さんを交流させたらと思います。コミュニティバスを選んだ理由は、議論もできるし、待っている間にコミュニケーションが取れるから大切だと思いました。

「芦屋市ではゆるキャラを作らない」は賛成、無いほうがよりオリジナリティが出て良い。「芦屋市は食品でB-1グランプリに参加しない」は反対、「ふるさと納税不要」は廃止するべきで賛成、ふるさと納税でリターンを求める人が多いので、普通に寄付したほうがいいと思います。「24時間営業をしない」は無くて不便ではないので賛成です。「映画撮影の誘致を特にしない」は△、「自動販売機は不要」は反対です。

Gグループ 「芦屋市ではゆるキャラを作らない」は賛成、「芦屋市は食品でB-1グランプリに参加しない」は賛成、「ふるさと納税不要」は金持ちアピールに使えばいいと思います。何億円ふるさと納税したらベンツをあげるとか、家をあげるとかをしたら絶対アピールになります。「24時間営業をしない」は賛成、「映画撮影の誘致を特にしない」は、芦屋市は環境がきれいと言っていたのに、なんでしないのかなと思います。したら絶対いいと思います。「自動販売機は不要」は絶対要ります。

Hグループ 「芦屋市ではゆるキャラを作らない」は賛成、イメージに合わないということと「芦屋市は食品でB-1グランプリに参加しない」は賛成、特に出すようなものがないからです。「ふるさと納税不要」は、芦屋というより全国的に廃止したほうがいいと思います。「24時間営業をしない」は、駅前とか利用者が多いところはやったほうがいいと思います。学生が深夜しか働けないとか、そういう場合があるんで△で、「映画撮影の誘致を特にしない」はどちらでもいいかなと、「自動販売機は不要」は欲しいんで反対です。

Iグループ 「芦屋市ではゆるキャラを作らない」賛成、「芦屋市は食品でB-1グランプリに参加しない」は反対イメージがないからこそ出す、「ふるさと納税不要」賛成、ニュースとかにも出てますがふるさと納税をする理由って、本当の目的は応援したい地方を助けたい援助したいというのが本来の目的なんだけど、最近は見返りを欲しい人がいる。本来の目的からそれているから良くない。「24時間営業をしない」反対、帰りが遅い働く人のことも考えなければならなく、例えば震災等が起きたときにガソリンスタンドとかが使えなくなったりするから。「映画撮影の誘致を特にしない」反対で、したほうがいいと思います。芦屋には山も川も海もあり、風景もいいんで、そういうところを使いたいという人が多いと思います。「自動販売機は不要」は反対、熱中症とかで倒れた時もすぐに使えるので自動販売機は置いておいたほうがいいと思います。

Jグループ 「芦屋市ではゆるキャラを作らない」賛成、「芦屋市は食品でB-1グランプリに参加しない」賛成、「ふるさと納税不要」は芦屋にとっては有利なところもあるので△、「24時間営業をしない」賛成、「映画撮影の誘致を特にしない」賛成、「自動販売機は不要」反対、一度廃止してみて自

販機のありがたみを分かっただらいいと思います。提案としては、「芦屋はお金持ち」というイメージをこれからも続けていくのが大事だと思うし、もっと「大人の街」にするんだったら、こういう会をもっとやるほうがいいと思うし、芦屋出身、芦屋育ちの人が参加し、自分の意見が言える大人になることが大事だと思います。

Kグループ 「芦屋市ではゆるキャラを作らない」賛成、「芦屋市は食品でB-1グランプリに参加しない」「ふるさと納税不要」反対、「24時間営業をしない」賛成、「映画撮影の誘致を特にしない」は反対、有名な映画に金持ちの人ばかりが出る、「自動販売機は不要」は△で、この時期に熱中症とかでは、助けられる命も助けられなくなるからです。

芦屋ではやらない10つのことから、自分の生き方を考える街に

大森 「ゆるキャラを作らない」くらいかな賛成は。「大人の街芦屋はゆるキャラをこれからも作りません」ということで。

中田 私の中では全部賛成なんです。今は便利になりすぎて、何が何だかわからないような感じになり、働いてる方も長時間労働っていう問題もあります。実現して欲しいのは、「自動販売機は不要」はいいですね。無くてもいいし、ある時に買って水筒を持って歩けばいいんです。災害の時も、ちょっとの食べ物とちょっとの飲み物があれば、ちょっとくらいは生き延びられると思います。そういうことを考えられるような機会にもなれるんじゃないかと思います。ここに来るまで「芦屋ってどんな、街なんやろ」といつも思っており、皆さんが思うみたいに「お金持ち」だけでは語れないようなモヤモヤとしてものがあつたんですが、今日感じたのは、デジタルではなくアナログが似合う街なのかなと思ったり、モダンだけど、案外泥臭い街なんじゃないかな、不器用なところがあるんじゃないかなと、人工的ではなくて人間が感じられるいい街だなと、朝来た時よりも今の方が思っています。

三宅 日本で国の重要文化財の山村邸があるように、この芦屋市には日本を代表する文化財がたくさん建築として残っています。つまりお金を全部文化と建物と街にかえたこの作品が芦屋なんです。芦屋が単なる金持ちとしか言われたいというのは、お金という価値でしか我々も見えていないということですね。

山崎：芦屋は「大人の街」であるためにしてはならない 10 のことって言っちゃったのに、今、ここには6しかない、残り4つは皆さんが提案してくださった中にもはいるかなと思ってます。最初、僕は「芦屋です」って言ったら「金持ちの街ですね」で話が止まっちゃうのはしゃくにさわるって思っていた。芦屋の街が金持ちであってはならないと言っているわけじゃないんです。金持ちだっていう自負を持っていていいと思うんです。「ああ、金持ちの街ですね、そう言うたらなんか、ちょっと嬉しいでしょ、はい、その話は終わりね」みたいな話になっちゃうのがとっても嫌だというふうに思っていたんです。だから「ゆるキャラを作らない」に始まった6つ、もしくは10個にしたとしても、裏側で「金持ちやな」と後で気づいてもらえるくらいのほうがいいと思いました。

ゆるキャラというのは愛着と知名度を醸成するために作りますけれども、芦屋は無くて愛着も、知名度もあると信じられれば自信を持っていけば、ゆるキャラ作る必要はないんじゃないかと思うんですね。「B-1グランプリに参加しない」芦屋はB-1グルメで有名になりたいんですか。ちゃうやんA-1やん、A-1でいきたいのにB-1グランプリに参加してどうすんねん。これも芦屋側の自信ですよ。芦屋プライドということだと思うんですね。「ふるさと納税をしない」さっき話に出てきましたよね。ふるさと納税しなければ、他の地域に取られるだけやん、いいやないですか。他の街に税金取られても気にしないくらい我々は金持っているんです、というように裏返していけばいいんです。「24時間営業の店をつくらない」働き方にも、環境にも、配慮したわりと大人な人間たちが住んでいる街ですよとえばいいし、映画撮影誘致しない、誘致しなくても撮影しに来る街であると言えばいいわけですし、「自動販売機置かない」いいじゃないですか、自動販売機なんかには我々が飲みたい飲みものは入っていないということですね。熱中症とかそういう話については、中田さんがおっしゃったみたいに自分たちが注意するというようなことでええんちゃうんかなと思うんです。その6個に加えて、「駅前で駐停車しない」これもっと行き過ぎてしまってもいいと思います。駅前までわざわざ自家用車を乗り入れるようなダサいことはしないでいいんじゃないか。ヨーロッパでは最近そうなっています。駅前まで自動車が入らなかつたら商店街が壊滅的になると言われていたのに、周りに駐車場を作ったんですよ。駐車場から駅まではみんな歩きますよ。そしたら、歩いてみんな買い物するようになったんですよ。もう

今日本ぐらいですよ。駅前まで、お迎えとか送り迎えをやっているのは。あれを見るたびに芦屋ってちょっとダサくないかなっていつも思っちゃうんですけど、駅前には基本的に公共交通が入る場所で、そこは歩いて暮らせる。おしゃれな空間を作っていくっていくのがいいんじゃないかなと思いましたね。コミュニティバスの話も一緒です。「ドローンを勝手に飛ばさない」いいんじゃないですかね。ドローンを飛ばしたら絶対みんな金持ちの家覗きに行く、だからドローンはとばしちゃいけない。でも、金持ちと言ってはいけない、かっこわるいから。ドローンを飛ばさないということで留めておくというのが大事だと思います。「外国人を排除しない」という話が出てきましたよね。国際的な街でその感覚を私たちが持っているからこそ外国人を排除しない街でありたい。全市的に「公共空間で喫煙をしない」人に無理やりタバコを吸わせないということですよ。

芦屋ではではない 10 のことを考えるということは、その裏側で、我々は、どう生きていきたいのか。金持ちであることを全面出すのがダサいといっているわけで、金持ちであることが悪いことではないと思います。やらない方がいいんじゃないかなということの意味をもう 1 回みんなで考えるいく中から この街が目指したい方向、もっと言うと自分たちがどう暮らして、この街で死んでいきたいか考えるきっかけになるのではないかなという気がしますね。 ちょっと繰り返しますが、皆さんが、ここで生きて、最後死んでいく時に目を閉じる瞬間に「ああ儲かった人生だった」と言って死にたいのか。「ああ、いい人生だった」と言って死にたいのかを考えなきゃいけないと思うんです。最後の一言が、金持ちだった人生、儲かった人生だったと言って死んでいきたいという人たちがそう多くはないんだとすると、我々は、金持ちということを使って、どういう街をつくっていかなくちゃいけないのかですね。三宅さんがおっしゃったみたいに、かつての金持ちがやったことというのは、相当お金を設けて、相当、街に文化として還元してきたわけですけど、我々目先にお金がたくさん沢山ある事っていうのを目標にすることは、ぜんぜんよくないことです。金儲けるのはできるけれども、それをどう使うのってことがとっても重要なんじゃないかなっていう気がします。